



きらり！ No.44
まちの主役



傾聴ボランティア
竹原典子 さん

新高久にお住まいの竹原典子さんは5年前に傾聴ボランティアグループを立ち上げました。現在10名の仲間とともに傾聴活動も行いつつ、ささやかな生活支援も行っているそうです。住民向け講演会や研修会の開催、認知症サポートー養成講座やラン伴(認知症普及マラソン)にも携わり、認知症になっても最期まで自宅で過ごせる地域づくりに尽力しています。竹原さんは13年前に本町に移住し、ボランティアセンターの募集を見て町内介護施設のイベントの手伝いを始めたそうです。月に1〜2回施設に行く中で90代の男性入所者と会話するようになり、様々な話を聴くことで男性が喜んでくれたことがきっかけで、それまで無縁だった傾聴に興味を持つたそうです。また、末期がんの義兄が家族に見守られ自宅で穏やかに過ごす場面に立ち合い、町の在宅医療体制について考えるようになったといいます。勉強と地道な活動を続け、今では訪問診療の医師からも信頼を寄せられるボランティアグループに発展しました。介護の専門職員でなくても、ひとりの町民として「私たちにもなにかできることがあるはず」という熱意を持ち続ける竹原さんは、傾聴と在宅支援を必要とする人の声と心に寄り添い続けています。

短歌

那須岳を覆う夕焼け明日も晴れ
日焼けし子らと若きパパママ
はらりはらりぼた雪のごと舞う槐
網戸の向こうこぼれ散り敷く

平岡 威
塩島 恵子

遊行柳投句箱

柳立つ那須も青田となりゆけり
遊行柳歌を枕に三尺寝
福島県石川町

赤田 浩
いなじまる

俳句

牛の目に安堵の色や今朝の秋
秋立つや夜空にひかる赤い星
組板の音のかるさよ秋に入る
グラウンドに猫の来てゐる今朝の秋
塔頭の苔むす庭や沙羅落花
夏椿姪の遺品の〃千の風〃
釈迦堂の庭に楚々たり沙羅の花
長ずれどしよせん燕雀沙羅の花
シロちゃんの面影惚ぶ夏椿
色褪せし落花重ねて夏椿
山里の梅千し香る日和かな
草いきれここには道があつたはず
平笊の傾け直し梅を干す
大戦中日の丸弁当梅一つ
大ざるに梅干広げ唾を飲む
輪となりて兎の手火花を見つめけり
玉音と慟哭と黙敗戦日

中島 君江
高久 巻江
南雲 浩一
中込とし郎
池田 裕子
丹野 セツ
杉本 美風
井上 均
井上 博子
高畑 和子
深沢 千郷
松本 和子
大場 芦山
深沢 為寿
須藤さよ子
田部井清子
鮎瀬 汀

那須文芸

「広報那須」に広告を掲載しませんか

- 広告の大きさ と 掲載料
 - 1号広告 縦5cm 横17cm 20,000円
 - 2号広告 縦5cm 横 8cm 10,000円
- 掲載方法
掲載希望発行日の2カ月前までに申込みをし、版下原稿を作成・提出してください。
- 申込み・問合せ 総務課広報広聴係 ☎72-6901

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

- 締切り 9月18日(火)
- 俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044
- 短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901